

# 日本心理医療諸学会連合 27 回大会

## テーマ「メンタルヘルスを支えるポジティブ・サイコロジー」

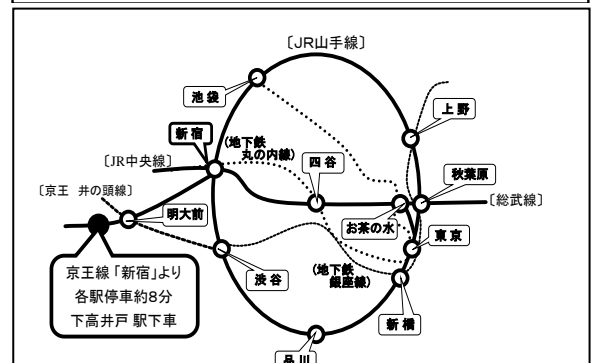
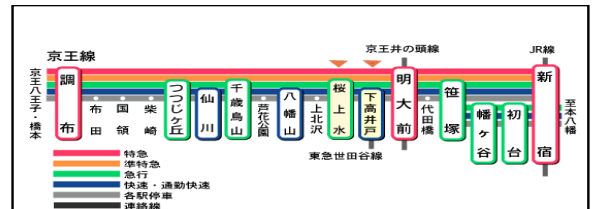
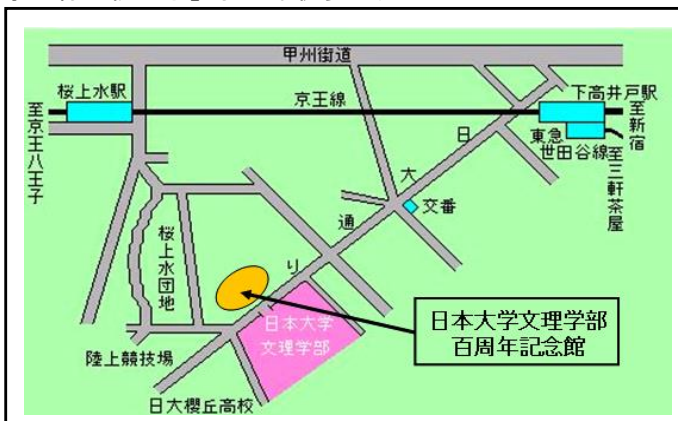
1987年に設立された日本心理医療諸学会連合(UPM)は、加盟学会の特色を生かし、領域や学問的立場を越えた連携による総合的発展を目指して活動してきました。今回の第27回大会では、第1部としてポジティブ・サイコロジーをテーマとするシンポジウムを、また第2部では心理医療に関わる講義および実習を開催いたします。また、本大会の研修は、日本健康心理学会認定健康心理士の研修ポイントになります。

各加盟学会会員の皆様、また内容に興味のある方々のご参加を心よりお待ちしております。 大会長 竹中晃二

- ・主 催: 日本心理医療諸学会連合 第27回大会運営委員  
 天保英明(日本心身医学会)、江花昭一(日本心身医学会)  
 坂入洋右(日本自律訓練学会)、嶋田洋徳(日本認知・行動療法学会)  
 竹中晃二(日本健康心理学会)、中澤直子(日本女性心身医学会)  
 端詰勝敬(日本バイオフィードバック学会)、松野俊夫(日本交流分析学会)
- ・日 時: 2014年9月7日(日) 9:15~16:40
- ・参加費: UPM加盟学会会員: 4,000円/一般参加者: 5,000円/学生: 2,000円  
 ※参加費は当日会場にてお支払いください。学生の方は身分を証明するものを当日ご持参ください。
- ・会 場: 日本大学文理学部百周年記念館 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 4-2-50

### ■会場までのアクセス

- ・京王線「下高井戸」駅下車徒歩8分
- ・京王線「桜上水」駅下車徒歩8分



### ■大会プログラム

- 8:30 受付開始
- 9:15~ 開会の辞 日本心理医療諸学会連合(UPM)理事長: 坂入 洋右
- 第1部:メンタルヘルスを支えるポジティブ・サイコロジー**
- 9:30~10:30 プロローグ「メンタルヘルスを支えるポジティブ・サイコロジー」  
 第27回大会大会長: 竹中 晃二 (早稲田大学、日本健康心理学会)
- 10:35~12:35 シンポジウム「メンタルヘルスを支えるポジティブ・サイコロジー」
  - 話題提供者 大野 裕 (国立精神・神経医療研究センター、日本ポジティブサイコロジー医学会)  
 「認知行動療法とポジティブ、サイコロジー」
  - 島井 哲志 (日本赤十字豊田看護大学、日本健康心理学会)  
 「『幸福追求』とポジティブ心理学」
  - 坂入 洋右 (筑波大学、日本自律訓練学会)  
 「健康増進と能力発揮のポジティブ心理学」
  - 富家 直明 (北海道医療大学、日本カウンセリング学会)  
 「コミュニケーションスキル教育とポジティブ・サイコロジー」
  - 指定討論者 江花 昭一 (神奈川大学、日本心身医学会)  
 小田切 優子 (東京医科大学、日本ストレス学会)
- 12:45~14:00 昼食(デモンストレーション、加盟学会によるイベント・相談コーナーなどを1階フロアに作ります)  
 ※大会参加者は昼食をご持参ください。飲み物は館内に自販機があります。
- 12:45~14:00 UPM理事会

## 第2部：研修会（講義、実習）

・講義と実習は、講義Cと実習C(内観療法)を除いて、独立した内容ですので、組み合わせて受講できますが、同一時間内に2つの受講はできません。講義Cと実習C(内観療法)は、講義だけの受講は可能ですが、できるだけセットで受講してください。カッコ内は募集予定人数です。

講義 14:00～15:00		実習 15:10～16:40	
講義 A (100)	「ポジティブ・サイコロジーを適用した依存行動への介入」 喫煙や飲酒にはじまり、覚醒剤や麻薬に至る薬物・物質への依存は、治療法が開発されているものの完治はきわめて難しい。そのため、問題行動を開始する以前に適切な信念を形成する教育こそが求められている。本講義では、ポジティブ心理学の立場から有効な予防技法を提案する。ショッピングやスマホへの依存予防にも役立つ内容に発展させたい。 講師：山田富美雄先生（大阪人間科学大学） 日本健康心理学会	実習 A (100)	「マインドフルネスの理解と実践」  今この瞬間への選択的注意と、意識野に入ってくる全てのものに対する注意の分割という観点から、マインドフルネスの基礎的理解と、その実践方法について、実習も交えながら解説を行う。  講師：熊野宏昭先生（早稲田大学） 日本認知・行動療法学会
講義 B (60)	「更年期のからだところ ——女性ホルモンとメンタルヘルス——」 更年期女性が自覚する抑うつ・不安・不眠などの多彩な精神症状について、女性ホルモンの変動や心理的社会的ストレス因子との関係から考えていきたい。 講師：寺内公一先生（東京医科歯科大学） 日本女性心身医学会	実習 B (60)	「認知行動療法に基づくストレスマネジメント ——セルフ・モニタリング法の活用」 有効なストレス・コーピングを選択、実行するために、セルフ・モニタリング法を用いて、俯瞰的にコーピングの機能的側面を理解する方法について概説、実習する。 講師：嶋田洋徳先生（早稲田大学） 日本健康心理学会、日本認知・行動療法学会
講義 C (40)	「内観療法の基礎から応用まで」 内観の歴史を紐解いたうえで、体験学習に備えて、内観の仕方(方法)について紹介する。応用編では、臨床場面や内観研修所における内観事例の紹介だけでなく、教育場面で行なわれている内観ワークや海外(とりわけ中国)で展開されている内観療法の実情を紹介する。 講師：真栄城輝明先生（奈良女子大学） 補助：森下文さん、蘆立群さん(奈良女子大学大学院) 日本内観学会	実習 C (40)	「内の体観学習」 集中内観で行われている方法に沿って、今回は内観ワークによる体験学習を行う予定である。具体的には、参加者自身に内観者と面接者の役割を体験してもらい、内観のエッセンスに触れていただけるような体験的学習にしたい。  講師：真栄城輝明先生（奈良女子大学） 補助：森下文さん、蘆立群さん(奈良女子大学大学院) 日本内観学会

### ■大会申し込み(6月1日より申し込みを開始いたします)

下記必要事項を記入し、第27回大会事務局宛にメール、またはFAXにてお申し込みください。定員を超えた場合は、お断りする場合がございます。早めに、申し込みを済ませてください。大会情報は随時更新いたします。

#### ●日本心理医療諸学会連合第27回大会 申し込み要項

- 参加者氏名(ふりがな)
- 1部 a. 参加 b. 不参加
- 2部 希望する研修会番号 講義(A・B・C) 実習(A・B・C)

※同じ時間帯の講習会に同時に2つは受講できません。研修会には定員があります。受付は先着順です。

※内観療法にご参加の方は、ズボン着用と床に座る際のバスタオルなど敷物をご持参ください。

- 連絡先ご住所・TEL
- 連絡先(メールアドレスまたはFAX): 受付確認後にご連絡を差し上げます。
- 所属するUPM加盟学会名(主たる学会名)、または一般参加・学生等の区分をお書きください。

#### ●申込み・問い合わせ先

日本心理医療諸学会連合(UPM) 第27回大会事務局(早稲田大学応用健康科学研究室/担当: 島崎崇史)

メールアドレス: upmjimukyoku@gmail.com FAX: 04-2947-6874

### 日本心理医療諸学会連合加盟学会一覧

日本カウンセリング学会 日本健康心理学会 日本行動医学会 日本認知・行動療法学会 日本交流分析学会  
日本歯科心身医学会 日本実存療法学会 日本女性心身医学会 日本自律訓練学会 日本心身医学会  
日本心療内科学会 日本ストレス学会 日本内観学会 日本内観医学会 日本バイオフィードバック学会